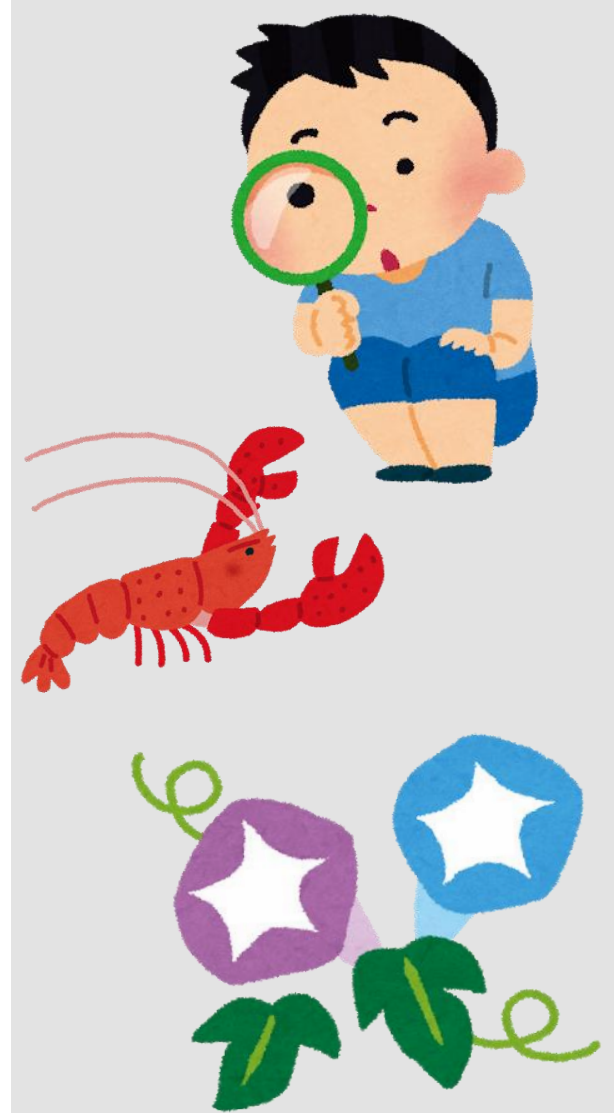


小学校国語科
低学年「書くこと」

「どんなふうにかいたらいいのかなあ？」
～観察したことを記録するとき～

* ツール・機能 : カメラ機能

* 分類 : 思考活動・協働活動



ICT活用のねらい

「書くこと」における資質・能力を身に付けさせるために、効果的な場面で活用します



カメラで手軽に材料集め

カメラ機能を活用することで、児童が「書くこと」の対象を視覚化・焦点化することができ、気軽に手軽に材料集めができます。また、画像の取り込みが簡単にできます。

表現に広がりをもたせるために

集めた材料をグループや学級全体で共有することができます。

- ・自分の思いや伝えたいことについて明確にできます。
- ・順序性, 簡単な構成について検討できます。
- ・友達のアイディアや作品に触れることで, 自分の文章の書き表し方の工夫につなげることができます。

学習の流れ

単元計画案

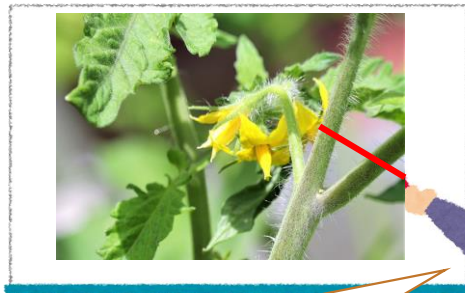


※時配は 単元計画に応じて	学習活動例	活用場面
課題設定 取材	学習の見通しをもち、対象を決めて観察する。	活用場面①-1 [視覚化・焦点化]
構成	観察したことを記録する文章の書き方を整理する。	活用場面①-2 [視覚化・焦点化]
記述	観察記録文を書く。	活用場面② [焦点化]
交流	観察記録文を読み合い、自分や友達の観察文のよい点について話し合う。	活用場面③ [共有化]
推敲	自分の観察文を見直し、書き直す。	
	学習を振り返り、まとめる。	

活用場面①ー1 課題設定・取材〔視覚化・焦点化〕

書きたいことを明確にするために

教師が、身近な材料を用いて画像の提示し、視点に気付かせます！



みんなで育てている
ミニトマトの今の様子です。



かんさつして書こう
生かつかでそだてた
ミニトマト
アサガオ



何を書いたら
いいのかなあ

画像を見ながら書く視点を明確にします！

花がさいた！
黄色だね。



くきがフワフワ
している！



花びらの形を
もっと見たいな。



さわったらどん
な感じかな。



葉っぱもよく見
てみたいなあ。



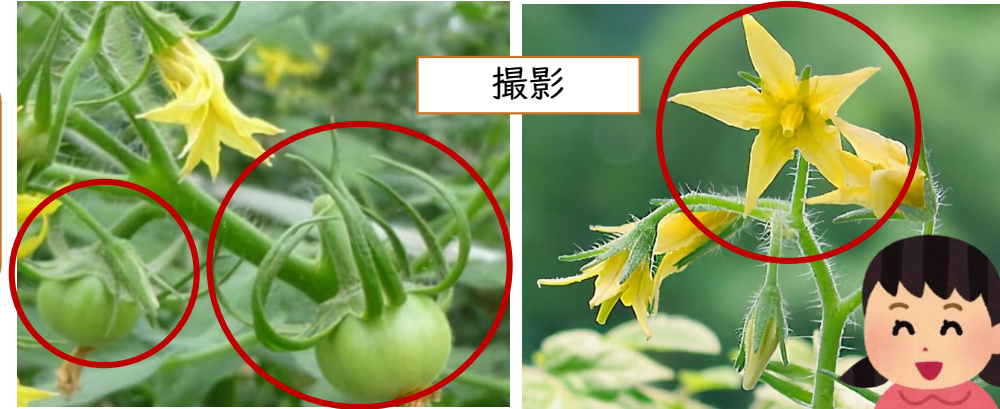
電子黒板で提示するだけでなく、児童の1人1台端末に配付することもできます。このような学習活動を経て、1人1台端末を持って材料集めをすると、児童が活動の目的を理解して取り組むことができます。

活用場面①-2 構成〔視覚化・焦点化〕

書きたいことを明確にするために

観察したことを記録する文章の書き方を整理します！

花の近くには、緑色の実
ができていてびっくり。
2こ発見したよ。トマトの
においがしたよ。



花が星の形みたい。写真を大き
くしてみよう。
見てほしいところに直接書き込
めるから分かりやすくいいな！



書けそう。
まず一つえらんで
書いてみよう。



以下のカードを提示して、更に書く視点を焦点化します！

形

色

大きさ

長さ

数

におい

さわった感じ

気づき

活用場面② 記述〔焦点化〕

材料を生かして実際に書くために

書くときに気を付けるポイントの提示します！

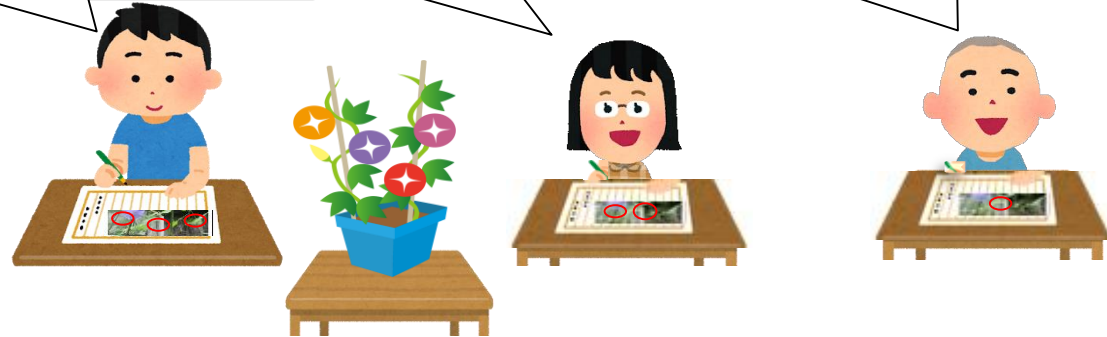


学級や児童の実態に応じて、ワークシートや書き方の工夫。マス目数、行数、形式を電子黒板などで提示。

書きたいことが決まっているから、すぐ書きはじめられるよ。

書く時間がたっぷりあるね。画像と実物をもう一度よく見比べてみよう。

一つのことをくわしく書くんだ。あわてずに書けるよ。



スムーズに書き始めるために、電子黒板、端末を活用！

- ・撮影したもの、伝えたいことが明確になっている写真の貼付
- ・書きたいことを焦点化したカードの活用
- ・教師作成のモデル文や、教科書のモデル文の提示

※ローマ字入力が未習の低学年には、音声入力機能や手書き入力機能を使うことができます。「書くこと」においては、個人差や、アナログとデジタルのバランスを大切にします。

